

■長屋王 皇族政治家。有能で不比等没後の政界を主導し、文化サロンの中心でもあったが、藤原氏の陰謀で自尽。
ながやおう
新羅朝鮮統一 676＝ 天智天皇皇女の御名部皇女を母に、高市皇子の第一子に生まれる。天武天皇の孫。鈴鹿王の兄。

伊勢遷宮・ 685＝ 9歳：
天武天皇没・ 686＝10歳：

藤原京遷都・ 694＝18歳：

持統天皇没・ 702＝26歳
・ 703＝27歳：
・ 704＝28歳： 初めて官界に出身し、無位から正四位上に叙せられる(律令適用の最初であったため)。

・ 709＝33歳： 従三位に叙せられ、宮内卿に任じられる。
平城京遷都・ 710＝34歳： 最も重要な職の式部卿に転任する。

古事記完成・ 712＝36歳： 文武天皇追善のため、長屋王願経として知られる大般若經の書写をする(和銅經)。

日本書紀始・ 714＝38歳： 諸親王と並んで食封の増加に預かる。
元正天皇即位 715＝39歳： 吉備内親王に生まれた子が皇孫扱いとされる。
光明子入内・ 716＝40歳： 正三位に叙せられる。

養老律令・ 718＝42歳： 大納言に任じられた。

藤原不比等没 720＝44歳： *右大臣藤原不比等が没して太政大臣に叙せられ、
長屋王右大臣 721＝45歳： 従二位右大臣に上る。不比等一周忌のため興福寺北円堂を建立。*元明太上天皇から藤原房前とともに後事を託され、

百万町歩計画 722＝46歳： 百万町歩計画を図り、
三世一身法・ 723＝47歳： 三世一身法を始め、
聖武天皇即位 724＝48歳： 聖武天皇の即位と同日、正二位左大臣となる。初めて民間人を母とする聖武天皇が、自らの正統性を、唐の則天武后に倣って、仏教の菩薩戒を受けることに求めたのに対応、則天武后に授戒した道岸の弟子鑑真に、想いを書き込んだ袈裟を贈り、感激されている。*多賀城設置を設置するなど活躍するが、聖武生母の藤原宮子の称号について言上し、大夫人、皇太夫人のいずれをとるべきか問うている。このこともあって光明立后を画策する藤原氏から、その反対の中心人物と目され、陰謀がしくまれ、

渤海交流始・ 728＝52歳： 神亀經(ともに大般若經)の一部分が現存している。
長屋王の変・ 729＝53歳： *王がひそかに左道を学び、国家を傾けんとしているという密告があり、ただちに王に対する訊問が行われ、自尽を命ぜられた。このとき吉備内親王とその子たちは自殺したが、藤原不比等の女某とその子たちは死を命ぜられなかった。王と吉備内親王の遺骸は生馬山(生駒山)に葬られた。
王の佐保宅(作宝楼、作宝宮)ではしばしば詩宴が催され、その作品が多く「懷風藻」におさめられている。また「万葉集」にも王の歌がある。